

城南家保ニュース Vol.22-9

熊本県城南家畜保健衛生所 平成22年12月 発行

ホームページもチェック! <http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617



国内で高病原性鳥インフルエンザが発生しました!

分離ウイルス:H5N1(強毒タイプ)

発生日 :11月29日

発生場所:島根県安来市

発生農場:採卵鶏 成鶏 20,000羽飼養

発生概要:朝、農場主が5羽の死亡を確認
夜、30羽の死亡を確認



今回の発生農場では、防鳥ネットが破れており、野鳥が侵入出来る状態になっていました。ウイルスの感染経路については不明ですが、今一度、防鳥ネットの破れがないか、野鳥や野生動物の侵入防止対策についてご確認をお願いします。

ウイルスの侵入を防止するためには

1. 防鳥ネットなどで鶏舎を覆う

防鳥ネットは破れてませんか? ネットに隙間は空いてませんか?
18mm未満の穴でないとスズメは入ってしまいます。今一度、ご確認を!

2. 鶏舎周囲に消石灰を撒く

H19の宮崎県でのHPAI発生では野生動物が鶏舎に侵入した可能性が指摘されました。野生動物によるウイルスの侵入防止のため、写真のように鶏舎周囲に消石灰を撒きましょう。



3. 鶏舎周囲に穀物等の野生動物を誘引するものを置かない

飼料タンクの下に飼料のこぼれはありませんか? エサや生ゴミなどは片付け、清潔に保ちましょう。

4. 人・車両の立入制限を行う

不要不急な部外者の立入を制限し、入場の際は、記録しておくことも必要です。

5. 飲水消毒も有効です

井戸水、山水、雨水など新鮮な水道水を確保出来ない場合は鶏の飲み水の塩素濃度を0.6ppmに設定すると鳥インフルエンザに効果があるとの報告もあります。

韓国で口蹄疫が再発しています！

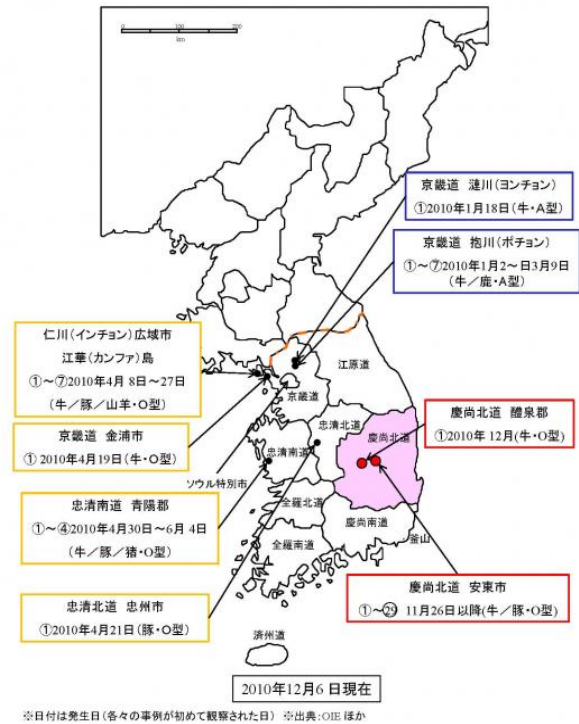
韓国では、本年1月に発生し、6月にいったん終息したものの、11月に再発が確認されました。11月29日に豚2農場で口蹄疫が確認されて以来、12月9日現在、豚4、牛27農場、27,063頭が口蹄疫の疑似患畜となり、8日時点で、325農場、11万8千頭を殺処分予定です。中国やモンゴルなどアジア各国では引き続き口蹄疫が発生しています。本年4月からの宮崎県の口蹄疫の発生においてウイルスの侵入防止のために頑張っていたあの頃を思い出してください！消毒の徹底など飼養衛生管理基準の遵守に努めましょう！

飼養衛生管理基準ってなに！？

食品の安全性の確保のため、家畜伝染病予防法に基づき、制定されました。

1. 畜舎および器具の清掃・消毒を定期的に行う
2. 畜舎の出入りの際は、消毒を行う
3. 飼料・水への野生動物の排せつ物侵入防止
4. 外部導入の際は、隔離期間を持つ
5. 外部からの人・車両の立入制限
6. 畜舎管理及び修繕、害獣・害虫駆除
7. 出荷家畜の健康観察
8. 家畜の健康管理
9. 家畜の密飼い防止
10. 家畜伝染病予防の知識の習得

韓国における口蹄疫の発生状況



消毒の徹底についてのチェックポイント

- ・ 畜舎の消毒は定期的に行っていますか？
- ・ 畜舎入り口および周囲に消石灰は撒いていますか？
- ・ 踏み込み消毒槽にはきれいな消毒液が入っていますか？
- ・ 畜舎周囲の草刈り・掃除はされていますか？

家畜伝染病の予防及びまん延防止には早期発見・早期通報が重要です。
異常が見られたら城南家畜保健衛生所まで連絡してください。